

# 取り組みの中枢を担う推進組織を設け、環境問題に向き合う



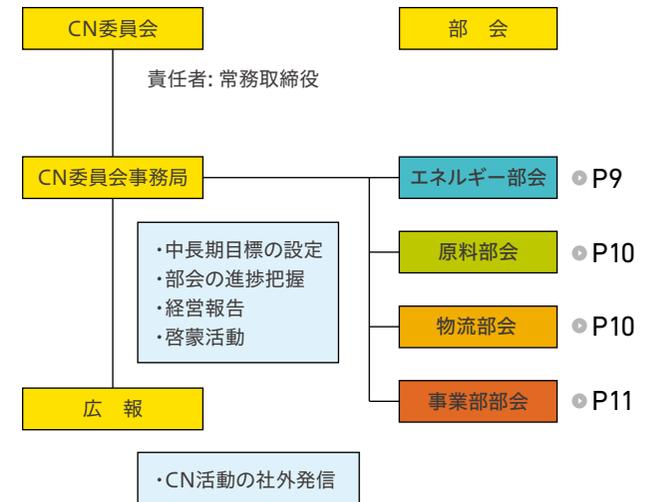
CN委員会 後列左から 柘植日佐夫、田中直樹、鳥居伸安  
前列左から 近藤信郎、三浦文史



## 組織体制

CN委員会は、常務取締役が責任者となり、直下の事務局が目標値の設定、経営報告、啓蒙活動等を実施しています。具体的な活動は4つの部会(エネルギー、原料、物流、事業部)が推進し、部会ごとにミッションを掲げ、2030年(中期)目標、3カ年目標、単年目標と活動計画を立て、実行してまいります。

### CN委員会 組織図



※活動範囲は国内事業所14拠点と関連(系列含む)27拠点

## 設立経緯

地球温暖化による異常気象によって豪雨災害の多発など気候変動リスクが存在、現実化してきました。これに対し2015年のCOP21では「世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く抑え、加えて、1.5℃未満を目指す」ことがうたわれ、日本政府も2021年には「CO<sub>2</sub>排出量を2030年に▲46%(13年比)、2050年のカーボンニュートラルを目指す」ことを表明しました。この動きと連動し、自動車メーカーをはじめとする、多くのお取引先様

からもCO<sub>2</sub>削減を強く求められることになりました。そのため、当社のCO<sub>2</sub>削減、カーボンニュートラルの実現に向けたガバナンス強化としてカーボンニュートラル(CN)委員会を2021年9月に設立。横串機能によるグループ全体での環境活動に取り組み始めました。

## 4 部会の取り組み

### エネルギー部会

**ミッション** Scope1/2を2030年に▲50%(2013年比:総量)

#### 活動計画

- 工場ごとのScope1/2のCO<sub>2</sub>排出量削減活動(下記具体例01,02)
- グループ会社(イノアック住環境)の環境部材の導入促進
- 太陽光エネルギーの活用検討
- 省エネ推奨設備の作成(ガイドライン)と導入促進



## 01 「省エネスタンダード2022」の作成と横展開

省エネスタンダードとして15分類、53アイテムをリストアップ。国内41拠点でアイテムごとに星取り表で管理をし、もれが無いように横展開を推進しています。



エアモレ診断

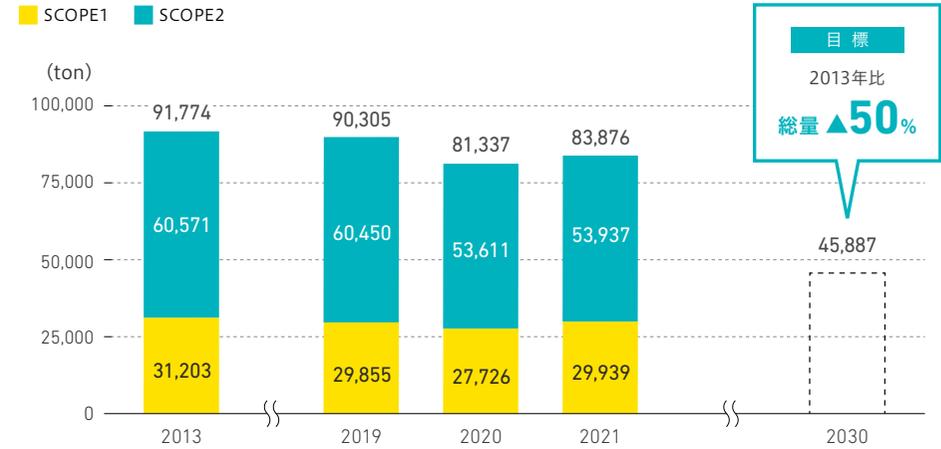


遮熱シートによる遮熱



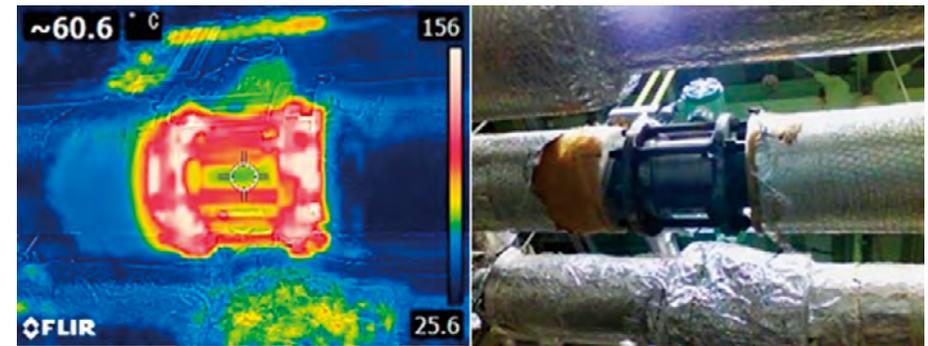
サーマックス  
(自社製断熱材)の  
利用促進

## CO<sub>2</sub>排出量推移



## 02 サーモカメラによる熱モレ対策

サーモカメラによる熱モレ検知活動を行っています。熱モレ箇所を特定し、対策を実施。その後の定期点検も行っています。



サーモカメラとの比較画像

## 4 部会の取り組み

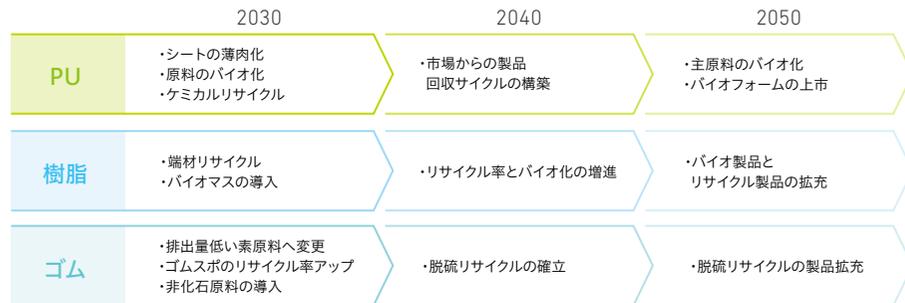
### 原料部会

#### ミッション

Scope3(カテゴリ1で大きな割合を占めるウレタン、樹脂、ゴム、塗料)の2030年の削減モニタリング目標を設定

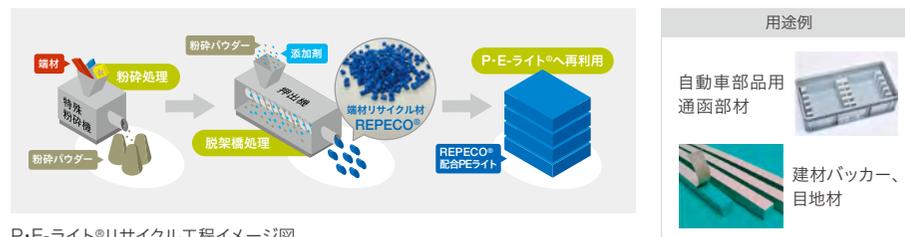
#### 活動計画

- 使用量の削減(廃棄物削減、軽量化、薄肉化)
- 材料のマテリアル・ケミカルリサイクル化(下記具体例03)
- 環境に優しい材料への置換(ゴムの樹脂化、バイオ化)(下記具体例04)



## 03 リサイクル事業紹介

当社はオレフィン材の商品を生産、提供しており、生産時に発生する端材に脱架橋処理を施し、再原料化することに成功しました(リサイクル材名:REPECO®)。REPECO®を当社の製品に一定割合を配合することで、今後使用する樹脂量を全体として削減していきます。



P-E-ライト®リサイクル工程イメージ図

## 04 バイオ化事例紹介

当社のウレタンでバイオマス50%の素材を開発。食品衛生法にも適合させることができ、まずはスポンジを上市しました。今後は寝具、衣料、化粧品、自動車分野へこの素材の活用、商品化を考えています。

■ウレタン(スラブ)

**ECOLOCEL**

BEH

バイオマスマーク  
50%取得

食品衛生法適合  
汎用品同等の機械物性

■使用用途

<p>スポンジ</p> <p>粗セル/微細セル</p> <p>上市済</p>	<p>マットレス</p> <p>高硬度/低硬度</p> <p>開発中</p>	<p>枕</p> <p>高反発/低反発</p> <p>開発中</p>
<p>衣料品</p> <p>触感</p> <p>上市済</p>	<p>化粧品</p> <p>高密度</p> <p>開発中</p>	<p>自動車</p> <p>難燃性</p> <p>開発中</p>

## 物流部会

#### ミッション

Scope3(カテゴリ4の他社輸送:自社が荷主)を対象。2023年を基準年とし2030年のモニタリング目標を設定し、物流のCO<sub>2</sub>削減に取り組んでいく

#### 活動計画

- 物流におけるCO<sub>2</sub>排出量の見える化のシステム構築
- 物流におけるCO<sub>2</sub>削減(積載効率UP、モーダルシフトの検討、顧客ミルクラン参入、低公害車への切り替え)

## 4 部会の取り組み

### 事業部部会

**ミッション** 主要品目の中長期戦略の立案と実行

**活動計画**

- 品目軸でリスクと機会を考慮したシナリオ分析の実施
- 品目軸での財務影響(売上、利益、投資)を考慮した計画と実行(下記商品化事例05)
- Scope1・2、Scope3の目標達成に向けた他部会との連携



## 05 商品化事例紹介

### 温度管理システムソリューション

物流業界における「脱ドライアイス」の流れを踏まえ、ドライアイス代替として蓄冷剤、保冷ボックス、運用管理方法をセットにした「温度管理システムソリューション」を提案しています。大手物流会社、食品輸送、生協等にてご採用いただいております。また本ソリューションの横展開として、新型コロナウイルスワクチン輸送の専用ボックス「i-Medisys」を開発。外気温5～35度の環境下において、検体などの内容物を2～8度で12時間保持した状態で輸送することが可能なボックスで、全国の地方自治体から多数の受注をいただいております。



### 高性能断熱材「サーマックス」

イソシアヌレートフォーム断熱材を製造、販売しています。熱伝導率0.020W/mKと、グラスウール(16kg)と比較し、2.3倍の熱抵抗値を持っています。また国交省から不燃材料の認定を受けているグレードもあり、火災にも強い断熱材です。用途としては、住宅、ビルの屋上防水、温水プールなど。また加工性にも優れるため、工場内の乾燥炉、空調ダクトなどにも展開しています。専門の営業部隊のみならず、例えば自動車部品営業マンもカタログを持ち、関係顧客の工場へのスペックイン活動を実施、採用実績を上げています。



## 事務局の啓蒙活動

### 社内展示会(3月、7月)

社内の啓蒙活動の一環として今年の3月と7月にCN委員会の各部会の活動状況説明および当社のCO<sub>2</sub>削減に寄与する材料、素材、商品、設備等を「パネルと実物」で展示しました。計6日でイノアックグループの延べ約400名に参加いただきました。



### 新入社員研修(4月)

2022年入社の新入社員を対象に研修会を実施しました。座学では、①なぜカーボンニュートラルに取り組みなくてはならないのか、②お客様からの要求値、③社内の体制と活動について説明。その後「パネルと実物」でCO<sub>2</sub>削減に寄与する当社の具体的なアイテムの説明を実施しました。



## メッセージ

当社は以前から環境に優しい材料、製品開発への取り組み、工場内のCO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組んでまいりましたが、全社的な目標値、横軸での管理といったガバナンスを設けていませんでした。2021年をターニングポイントとした社会、顧客からのCO<sub>2</sub>削減へのより一層の取り組み要請を受け、CN委員会を設立し活動を開始しました。まだ海外展開、サプライヤー展開、Scope3の残りのカテゴリー対応、カーボンニュートラル宣言に向けたシナリオづくりと課題は山積していますが、地に足をつけて着実に活動を推進していきたいと思っております。

常務取締役 カーボンニュートラル委員会 統括責任役員 **浅野 元之**

